

令和3年3月23日

学校法人相愛学園

理事長 相田芳久 殿

令和3年度

学校評価総括報告

報告者 焼津豊田幼稚園

園長 佐野正子



理事長
決 済



令和3年度 学校法人相愛学園焼津豊田幼稚園 学校評価の総括

園長 佐野正子

本年は、学校評価に関する事業を進めるにあたり、以下のような経過で作業を進めてまいりました。

1. 各学期における教育活動、学級・学年運営の振り返り(1～3学期)
2. 時期に応じた父母アンケートの読み取り、くみ上げ(1～3学期)
3. 職員各自による自己点検・評価の実施(R3.1月下旬)
4. 保護者アンケートの実施(R3.2月上旬)
5. 各自己評価ならびに父母アンケートの結果を踏まえた施設管理者の
自己点検・評価 (R4.2.28 理事長の確認決済)
6. 学校関係者評価委員会の実施(R4.3.3)
7. 学校関係者評価委員会からの報告(R4.3.14)
8. 学校評価の総括を理事長に提出

自己点検・評価の内容については2月28日に報告したとおりですが、その後に実施された学校関係者評価委員会からもプラス評価とともに、いくつかの改善点も指摘されました。来期への改善課題については以下のとおりです。

1. 一人一人の育ちを丁寧に見取することで、集団及び個を意識したバランスの良い保育を心掛けていく。
2. 対話的な話し合いを重ねながら、教え合い学び合う時間を大切にしていって、保育の質を図っていく。

これらの事項については、令和4年度の課題として真摯に捉え、十分な対応を検討していきたいと考えます。

なお、安全管理、防災・防犯への対処については一定の評価をいただきましたが、大切な園児の命をお預かりする施設として、引き続きさらに万全を期して取り組んでまいりたいと思います。

以上、令和3年度の本園学校評価の総括として報告いたします。

令和3年度の教育活動等に対する学校評価書

令和4年3月14日

学校法人相愛学園 焼津豊田幼稚園長 佐野 正子

〃 学校関係者評価委員長 杉本 清美

- 1 幼稚園の教育理念** 建学の精神 『あかるく こころゆたかに』
教育目標
- 1 じょうぶなからだに
 - 2 いのちをたいせつに（思いやりのある子に）
 - 3 やる気のある子に
 - 4 よく考える子に

2 本年度の重点目標

- 幼児の育ちと照らし合わせながら振り返りをし、教育活動や環境構成の改善をしていく中で、幼児一人一人の育ちを丁寧にとらえ心身の成長を促していく。
- コロナ禍という厳しい状況下での園生活ではあるが、幼児にとって意味のある生活ができるよう工夫して取り組んでいく。
- 対話的な話し合いを重ねながら、ベテランと若手が教え合い学び合う時間を大切にしていって、保育の質の向上を図っていく。

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評点	幼稚園としての視点	評点	意見・評価
幼児の実態を踏まえクラス運営をしていく中で、集団における指導援助と共に、個に応じた指導・援	B	・今年度、園内研修として遊びの事例を記録しそれを持ち寄り、発表（伝え合い）の時間を設けた。全体、学年、年代別等、グループを入れ替えながら行うことで、いろいろな意見交換をする等積極的に話し合う姿勢が見られ有意義な時間を持つことができた。	B	・評価委員会当日、全クラスの保育の様子を参観させていただきましたが、どの年代においても子ども達が生き生きとした表情で活動していました。教育の軸がしっかりしているからこそ年代ごと健やかに成長している姿が見られるのだと考えます。

<p>助が考えられているか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・援助・指導が必要な幼児については、引き続き個別の指導計画を立案してサポートをしていった。ただ、関わるタイミングや方法が難しく、集団と個とのバランスの取り方で苦勞していた担任も多い。まだまだ集団 or 個のどちらかに偏ってしまったりする様子もあるので対応の工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会は生活環境が様々で、対応が難しいこともあることは想像できます。個と集団をしっかりと意識した上での適切な指導・援助ができるよう研鑽に努め子どもに寄り添った保育に繋がっていくよう望みます。
<p>コロナ禍の中で活動や行事を実施するにあたり、幼児にとって意味のある充実したものになるよう配慮しているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続きコロナ禍での生活だったが、昨年度とは状況が異なるので、その都度対応策を考えながら進めていった。その時期の感染状況や欠席状況を踏まえ、できる範囲のことを検討し実施していった。また、新しい取り組みを考え実施したことは、保護者の皆様にも高評価をいただいた。(zoom・YouTube 配信・分散登園等) 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での生活の中の、新しい取り組みの工夫に園としての努力を評価します。子ども達にとって楽しく有意義な経験ができるよう次年度も取り組んでいかれることを希望します。 ・コロナ禍でいろいろな意見が出るマスク問題ですが、満3歳児から年長児まで、しっかりとマスクを着用できていることに感心しました。
<p>園内の施設・設備環境、防災対策・感染症対策等が、幼児が</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティの徹底、学校保健安全計画に基づく防災避難訓練の定期実施や、保健衛生指導・食育までトータルな視野で子ども達の健康やかな成長を守る為の 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内においてはセキュリティ、安全指導・管理、遊具点検等を通して、子ども達の安全な生活を保障するものとなっていることは評価できます。

<p>安心して生活できる施設設備環境となっているだろうか。</p>	<p>努力を怠らないようにしてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭遊具等、日常的な目視や点検を行いながら安全管理に努めている。遊具の点検管理の他、事故を未然に防げるような子ども自身の安全管理に対する意識を育てていきたい。 ・新型コロナウイルス対策として「マスク着用」「室内換気」「手指消毒」等、年間を通じて実施していることもあり、子ども達の健康維持にも繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策として、手指消毒の仕方の工夫、黙食の指導、汚れたらマスクを交換する、換気等、徹底できていて安心します。 ・懸案の駐車場の件、また、一部環境整備を望みます。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>園庭 →池・ポンプ 周り 中央棟→子どもの数と トイレの数の割合</p> </div>
-----------------------------------	---	---

○自己評価、学校関係者評価を経て、令和4年度への課題として以下の点を挙げました。

*一人一人の育ちを丁寧に見取ることで、集団及び個を意識したバランスの良い保育を心掛けていく。

*対話的な話し合いを重ねながら、教え合い学び合う時間を大切にしていって行く中で、保育の質の向上を図っていく。

以 上